



# 秋風に揺れる1億の花 コスモス広苑 こうえん

えがみちよう ごしょがいちちよう  
福井市江上町、御所垣内町

最初はわずかな栽培面積だったという。今や一億本ものコスモスが咲き乱れる福井の秋を象徴する景観になった。地元の方々の汗の結晶に感動する。



コスモス広苑 こうえん



コスモス広苑

みやのした 宮ノ下地区のコスモス広苑 こうえんは、約 17.5ha（東京ドーム 10 個分）の広さがあり、約1億本のコスモスが咲きほこっています。そよ風に踊るコスモスの中をゆっくり歩くと、心も穏やかになり、とてもリラックスできます。

元々は地域の方が休耕田にコスモスを植えたことがきっかけで、年々規模が大きくなり、見渡す限りの花の世界ができました。



コスモス広苑



広苑内を周回する花トラ車

コスモスマつりは、毎年、9月下旬から10月中旬にかけて開催されます。まつりは地域のボランティアによって運営されており、花トラ車の運行や新鮮野菜市などがまつりを盛り上げます。まつりを通して、地区を訪れる人と地域の住民の方の交流が増えるとともに、地域住民間のつながりも深まりました。





## 福井のシンボル 歴史と自然の足羽山

あすわかみちよう  
福井市足羽上町など

福井市民がこよなく愛する足羽山。春は桜、初夏には紫陽花、秋には山全体が美しく色づく。山頂へは情緒ある愛宕坂を上るのがよい。橘曙覧記念文学館など、寄り道も楽しい。



足羽神社の参道「愛宕坂」  
あたござか

足羽山は、福井平野の中心に位置する標高 116m の低い山ですが、市内に残された緑地として散策を楽しむ人も多く、市民の憩いの場となっています。

愛宕坂は、かつて、山頂付近にある足羽神社の参道として開かれました。平成 12 年に笏谷石を使い、再整備されており、毎年春と秋にライトアップされています。



福井市豊島から見た足羽山



足羽山から見る福井市内①



しだれ桜（市天然記念物）②



継体大王像

足羽山からは福井市街が一望でき、桜や紅葉のシーズンには多くの人々が訪れます。足羽神社のしだれ桜は、樹齢約 350 年、高さが約 12m あり、福井市の天然記念物に指定されています。

足羽山には、古墳や継体大王の石像、鎌倉・南北朝時代の名将 新田義貞とその一族を祀る藤島神社などがあり、福井の自然とともに歴史のシンボルであるともいえます。





## 試練を乗り越え咲き誇る 足羽川桜並木

福井市つくも1丁目、中央3丁目など

福井市民の浄財によって植樹された足羽川堤防の桜並木、今では圧倒的なスケールで花見客を驚かせる。夜桜見物のあとは浜町界隈の散策がいい…。市民が自慢する景観である。



足羽川（桜橋付近）①



足羽川（幸橋付近）②

福井市中心部を流れる足羽川（あかり）の木田橋から新明里橋にかけて、左岸側堤防約2kmに渡って桜並木が続きます。春になると壮大な桜のトンネルが、多くの人たちを楽しませてくれます。「日本桜の名所百選」にも選ばれているこの桜並木は、明治時代、住民の寄付による植樹が始まりで、戦災、震災復興記念の「福井復興博覧会」（昭和27年）や福井豪雨（平成16年）からの復旧など、時代を越えて植樹が行われ、守られてきました。



足羽川（つくも1丁目付近）



足羽川右岸（浜町付近）

足羽川右岸側には通称浜町と呼ばれる地区に老舗料亭が店を構えており、夕方になるとオレンジの明かりとともに明治の風情を醸し出しています。





## 路面電車が走る 福井の街角

福井市春山1丁目、中央1丁目など

福井は路面電車が走るまちだ。古い車両がゆっくりとした速度で道路の真ん中を往来する。昔と変わらない。ほっとする光景がそこにある。



福井地方裁判所前



三井住友信託銀行福井支店

福井市内には、西洋の建築様式を用いた近代建築物が今も残っており、その前を路面電車が走る風景は福井なじみのものとなっています。

福井地方裁判所は空襲や震災で焼失しましたが、福井復興のシンボルとして昭和28年に再建されました。その独特の色と造りには、裁判所ということも相まって、格式高い雰囲気があります。

日本聖公会福井聖三一教会<sup>①</sup>

市役所前駅



フェニックスプラザ前

福井には、昭和初期に建設され、空襲や震災など幾多の災害を乗り越えた近代建築物も残っています。

三井住友信託銀行福井支店の建物は、昭和9年に建設され、今も現役で使われています。花崗岩などを使い、丸みを帯びた外壁には、重厚な雰囲気があります。

日本聖公会福井聖三一教会<sup>せいさんいち</sup>は、昭和6年に建てられたケルト十字架に象徴されるゴシック様式の建築物で、建物の前に立つと荘厳な雰囲気に包まれます。

路面電車は、福井鉄道の<sup>たわらまち</sup>田原町駅からフェニクス通りを経て、赤十字前駅付近の約3kmと途中の市役所前駅から分岐して福井駅前駅にいたる500mの区間で運行されており、通勤時など多くの乗降客でにぎわいます。





### 68万石の大藩の面影 福井城址

福井市大手3丁目、中央1丁目など

福井を本拠地を選び、巨大な城を築き、現在の福井のまちの礎を築いた柴田勝家と結城秀康。今なお福井市民に慕われるふたりの武将は、今年も越前時代行列の主役だ。



福井城址の天守台

福井城は1600年に越前に入った徳川家康の次男結城秀康により、約6年をかけて築かれました。内堀、石垣、天守台が残っており、藩主専用の通路として使用されていた「御廊下橋」が平成19年度に復元されました。福井城址は、桜の名所としても有名です。



桜の花びらでピンクに染まったお堀



復元された御廊下橋①



北庄城址・柴田公園

北庄城は、福井城から遡ること四半世紀、1575年に柴田勝家により築られました。1583年、賤ヶ岳の戦いで羽柴秀吉に敗れた勝家は城に火を放ち、妻であるお市の方と共に自害し天守閣は焼失、後に福井城が北側約2kmに築かれたため、お堀なども残っていません。

現在は、本丸跡付近が北庄城址・柴田公園として整備されているほか柴田勝家を祀る柴田神社や柴田勝家と妻お市、茶々、お初、お江の3人の子どもの像が当時をしのばせます。

柴田勝家は現在の福井市の礎を築いた武将として市民に大変親しまれており、毎年4月上旬に開催されるふくい春祭りのメインイベントの「越前時代行列」では、柴田勝家とお市の方を中心に武者行列が編成され、満開の桜並木の中を武者行列となって勇敢に練り歩く姿は、福井の春の風物詩となっています。



お市の方と3人の娘の銅像



ふくい春まつりのメインイベント「越前時代行列」②



写真①は(財)福井県建設技術公社、写真②は福井市提供



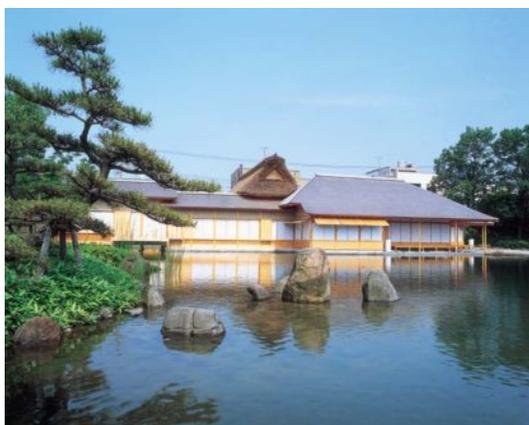
# 幕末四賢侯 しゅんがく 春嶽公の別邸 ようこうかん 養浩館

福井市宝永3丁目など

閑静な住宅地の中にある養浩館、庭園を囲む土塀が現代と江戸時代を分ける。舟遊びもできたという大きな池に映る紅葉、冬の雪吊りの光景、福井藩主が眺め寛いだ庭園は四季折々に美しい。



養浩館庭園（国名勝）



養浩館

かつて福井城外堀に面していた旧福井藩主松平家の別邸は、明治になってから第16代藩主の松平春嶽により、養浩館と名付けられました。

優雅な屋敷を取り巻く大きな池を中心とした回遊式林泉庭園は、江戸中期を代表する貴重な名園として知られており、昭和20年の福井大空襲で焼失したものの、昭和57年に国の名勝に指定されたのを機に、古図をもとに建物と庭園が復元されました。



養浩館



福井市郷土歴史博物館の舎人門①

舟遊びができた広大な池を中心に築山や入江などを配した優美な庭園は季節ごとに変化に富み、特に雪化粧をした養浩館は、静かな雰囲気です。

隣接地には郷土歴史博物館が整備され、福井城の外堀に設けられていた舎人門（高さ約6m、幅約10m）が復元されています。



橋本左内像（福井市左内町）



福井城址前の由利公正像（左）（福井市大手2丁目）

名君の誉れ高き春嶽公は、橋本左内や由利公正らを側近として重用しました。橋本左内は15歳で「啓発録」を記し、26歳の若さで「安政の大獄」で処刑されましたが、その教えは現在の教育にもつながっており、また、由利公正は五箇条誓文の原案を起草するなど、福井の偉人が時代に大きな影響を与えました。



写真①は福井市提供



37

# 歴史に刻まれた名石 しゃくだにいし 笏谷石のふるさと

福井市西木田4丁目、大手3丁目など

かつて足羽山から採掘されていた笏谷石。福井城の石垣や古い家の瓦、家屋の礎石として多く用いられたという。歴史を物語る石である。



あさひやまふどうじ  
朝日山不動寺の露天掘り跡



福井城址の石垣

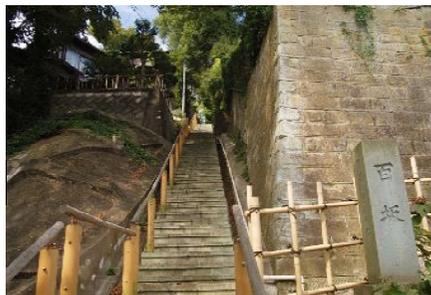
しゃくだにいし  
笏谷石は福井を代表する石材で、名前は採掘地の地名から由来しています。古墳時代から足羽山で採掘され、石仏、神社の敷石、石灯籠、石畳、瓦と、時代を問わず身近な石材として重宝されてきました。水に濡れると、独特の深い青緑色に変化し、より笏谷石らしい暖かみを感じることができます。

あさひやまふどうじ  
福井市の朝日山不動寺には、笏谷石の露天掘り跡があり、むき出しの笏谷石の岩肌を見ることができます。また、福井城址の石垣も笏谷石を使った代表的な建築物です。



いちじょうだに にしやまこうしょうじ  
一乗谷 西山光照寺跡の石仏①

いちじょうだに にしやまこうしょうじ  
一乗谷の西山光照寺跡には、笏谷石の石仏が、南北に向かい合う形で約四十体が並べられています。また、笏谷石の産地、足羽山にある百坂、横坂にも笏谷石が使われています。



ひやくさか  
百坂②



よこさか  
横坂③



写真①～③は福井市提供



さいぎょう 西行が讚えた 朝六つ橋から見た文殊山  
あさむ もんじゆさん

つのはらちやう 福井市角原町、あそうすふつかまち 浅水二日町など

地元の小学校の遠足によく選ばれている文殊山。その昔、西行法師は「越に来て富士とやいはん角原の文殊がたけの雪のあけぼの」と詠んだという。子供たちは美しい山に登る。



もんじゆさん 文殊山とソバ畑①



ちこ 文殊山の児の火②

もんじゆさん 文殊山（標高 365m）は福井市と鯖江市の境界に位置し、古来より越前五山のひとつとして崇められてきました。文殊山は角原からの眺めが富士山に似ているため「角原富士」とも呼ばれています。

気軽に登ることができ、近隣小学校の遠足にも利用され、校歌にも歌われるなど、文殊山は地元の人にとって子供のころから慣れ親しまれてきた山です。

4月24日の日没後には、文殊山頂に「児の火」が点灯されます。これは泰澄大師ゆかりの1000年以上前の行事を復活させたもので、大文殊に文殊菩薩の「文」の字が浮かび上がります。



あさむ 朝六つ橋のたもとの碑（福井市浅水二日町）



朝六つ川沿いの家並み（福井市今市町）



伝統的民家と土蔵（福井市杉谷町）

あさむ 朝六つ橋は、北陸道と美濃街道の分岐点として、平安時代の枕草子の中で称えられたり、歌枕として使われるなど、様々な人々の往来を見つめ続けた由緒ある橋です。現在の橋にはその面影はありませんが、橋のたもとに西行法師の歌と松尾芭蕉の句が彫られた朝六つ橋の碑があり、その時代の情景に思いを馳せることができます。

また、旧北陸道沿いの朝六つ川周辺を中心とした麻生津地区（浅水町、浅水二日町、三十八社町、今市町、杉谷町）は、伝統的民家や土蔵が今も数多く残る県内を代表する地域です。戦前に福井のあちらこちらで見られた美しいふるさとの景観を感じることができる貴重な場所です。





## 清らかなせせらぎ 東郷の町並み

福井市東郷二ヶ町、栃泉町ほか

城下町東郷のシンボルは、街道の真ん中を流れる堂田川。清らかな流れの両脇に整備された散策路と花壇、それぞれ異なった表情を持つ14の橋がやさしく心を癒す。



堂田川への錦鯉の放流①



堂田川のライトアップ②

東郷地区は、朝倉氏が一乗谷に拠点を移した頃から、その支城である東郷城の城下町として発展してきました。

現在も街道の中央を堂田川が流れ、安らぎのある豊かな「ふるさと」の風情が漂っています。その姿は、司馬遼太郎の「街道をゆく～越前の諸道」に、“美しい在所”と記されているほどです。

清らかな堂田川をのぞき込むと、多くの錦鯉が泳いでいるのがわかります。これは、平成20年に堂田川竣工10周年を記念し放流された稚魚などが育ったものです。堂田川をいつまでも美しく大切にという地域の思いが伝わってきます。

毎年6月にはせせらぎコンサートが開催され、堂田川がライトアップされます。やさしいろうそくの光に包まれた堂田川を見ていると、そぞろ歩きしたくなります。



堂田川



青山家③

堂田川沿いを歩くと、石灯笼や旧商家の青山家があり、昔の街道の雰囲気を感じることができます。

毎年5月5日には、子どもたちの健やかな成長と火災鎮護、五穀豊穰などを祈願して、登知為神社に奉納する節句行事が行われます。これは花山行事と呼ばれ、花山の竹槍をまとった子どもたちが「花山権現、花山権現」と村中を練り歩きます。約750年前から続いている伝統行事です。



花山行事（県民俗文化財）④





## 朝倉氏五代の栄華の跡

いちじょうだに  
一乗谷きどのうちょう  
福井市城戸ノ内町

わずかばかりの谷間の平地に、かつて一万人もの人々が暮らしていたという。戦国大名朝倉氏が栄華を極めた都の跡、五感が研ぎ澄まされる別世界にしばし浸ってみたい。

いちじょうだにあさくらし  
一乗谷朝倉氏遺跡（国史跡）の唐門

いちじょうだに  
一乗谷は、戦国時代朝倉氏五代の城下町として栄えました。最後の当主朝倉義景は、織田信長との戦いに敗れ、一乗谷は神社仏閣、居館から町屋に到るまで火が放たれ、すべてが灰に帰しました。季節と共に移ろいゆく景色からは、城下1万人とうたわれた栄華の時を思い起こすことができます。

一乗谷朝倉氏遺跡は、一乗谷城と城下町からなり、遺跡全体（278ha）が国の特別史跡に指定されています。



復元した町並み

発掘調査でわかったことや、出土した柱や金具・工具などを参考にして、昔と同じ方法で建物が復元されました。当時の町並みが約200mにわたって立体的に再現されています。

諏訪館跡庭園を含む4つの庭園は、国の特別名勝に指定されています。庭園をゆっくり歩けば、京文化の影響を強く受けた当時の景観を思い起こすことができます。

すわやかたあと  
諏訪館跡庭園（国名勝）